

学校だより

垂水市立垂水中央中学校

校訓「創造」「感動」「鍛錬」

令和4年度 第2号（5月25日発行） 校長 亀山 浩一

前期生徒総会

5月20日（木）令和4年度前期生徒総会を行いました。今回も、コロナ対策のため、生徒は教室で参加する「オンライン生徒総会」になりました。

猪俣和希生徒会長のあいさつに始まり、柳田峻汰・前畠心結の両議長の進行により協議が行われました。

本部や専門部ごとの活動報告や今後の計画、「スローガン」などの発表がありました。今年は、「いじめを許さない校風

づくり」宣言や「生徒会策定マナー（ア）」など生徒会からの提案があり、全て可決されました。昨年より、更に学校をよりよい方向に変えていこうとする生徒会役員の意気込みが込められており、何だか頼もしく感じられました。生徒全員で、実践し継続していきましょう。



修学旅行

5月10日（火）～12（木）に修学旅行に行くことが出来ました。3年生にとっては、入学以来コロナ禍により集団宿泊学習、ふるさと垂水、立志式など様々な行事が行えず、修学旅行も2回延期し、寂しい思いをしていたところでした。

コースは、県内旅行による学習になりました。知覧の特攻平和会館での平和学習、鹿児島市の史跡巡り、メテオスパードーム、フランス料理のテーブルマナー、音楽鑑賞、草木染めや絵付けなど日頃出来ない体験学習ができ、充実した修学旅行になりました。

地区陸上総体

5月17日（火）肝属地区陸上総体の推戴式がありました。

地区総体は、肝属地区2市4町全ての中学校から選手が集まり、それぞれの種目で試合が行われます。上位に入ったチームが県大会、その上位が九州大会、全国大会へ出場できます。

最初に陸上競技が行われます。陸上競技は全生徒に出場資格があり、5位以内に入ると県大会への出場権を得ることが出来ます。

元メジャーリーガーの松井秀喜選手は、「才能の差は小さいが、努力の差は大きい」「努力できることこそが、才能だ」と言っています。学校代表に選ばれた選手は、持って生まれた才能にプラスして、努力を積み重ねて今があるのだと思います。他の部活動は、6月に行われます。1年生も多くの生徒が部活動に入ってくれました。2、3年生は先輩として、「やってみせ 言って聞かせて させてみて 褒めてやらねば 人は動かじ」と言います。先輩の行動を後輩は見ています。まず、やって見せてください。と話しました。陸上競技の県大会出場権を獲得した生徒は下記に掲載しました。応援をよろしくお願いいたします。

※ 今年も、垂水高校陸上部監督の「大津卓也先生」が毎朝指導に来てくださいました。

表彰

肝属地区中学校陸上競技大会5/18（県総体の出場権を得た選手）

1年男子	100m	第4位	串田	斗斐
3年男子	100m	第3位	中濱	海音
共通男子	200m	第5位	戸越	優月
1年男子	1500m	第5位	上野	太慥
低学年男子	4×100mR	第3位	美坂瑛人・中濱波音・串田斗斐・永田柊人	



鹿児島市長杯ソフトテニス大会	4/17	男子個人	優勝	美坂瑛人・深見皐雅
	4/16	女子個人	準優勝	鎌田優茉・森山夢彩
第65回鹿児島県春季ソフトテニス大会	5/3	男子団体	準優勝	
	5/4	男子個人	優勝	美坂瑛人・深見皐雅
	5/1	女子個人	準優勝	鎌田優茉・森山夢彩
大隅地区中学校対抗ソフトテニス大会	5/7	男子団体	優勝	
大隅地区ABC級ソフトテニス大会B級	4/30	男子個人	準優勝	美坂瑛人・深見皐雅
			第3位	大山悠人・俣江啓次
	5/3	女子個人	優勝	鎌田優茉・森山夢彩



3年男子100m3位の中濱海音さん(右から2番目)



低学年男R4位アンカー永田柊人さん



垂水中央P R I D E

「いじめを許さない校風づくり」宣言

わたしたちは、みんな笑顔で過ごせるように

た 互いに助け合います

る ルールを大切にします

み 見て見ぬふりをしません

す ずっと正義の心を持ち続けます

ちゅう 中央中学生としての誇りを忘れません

お 思いやりの気持ちで接します

う 美しい心を追い求めます

平成二十八年五月十四日より
垂水市立垂水中央中学校生徒会

マ 待って！その言葉。相手の気持ちを考えて

ナ ないないない！人の写真や動画（個人情報）のアップ

ア あいません！SNS上だけの知り合いには



